

【報告】伊吹山保全対策に係る取組方針(案)について

1 概要

令和 5 年 7 月には伊吹山南側斜面において豪雨による土砂流出が発生し登山道が通行止めとなる被害を受けた他、令和 6 年 7 月には勝山谷川流域での土砂流出で麓の伊吹地区が被災。地域生活の安全・安心の確保と緑豊かな伊吹山の復旧のための保全対策が急務となっている。

伊吹山の保全対策については県および市で検討・協議を行ってきたところであり、今後の取組方針となる目指すべき伊吹山の将来像(案)および伊吹山保全対策に係るロードマップ(案)について報告する。

2 目指すべき伊吹山の将来像(案)

伊吹山は独自の自然環境を有し、その景観は県民のシンボルになっていることから、県・市・関係者が連携して保全・再生に取り組むにあたり、どのような伊吹山を目指していくか将来像の共有が重要。目指すべき伊吹山の保全・再生に向けた将来像を以下のように想定。

- ・南側斜面の 8 合目～山頂付近では、裸地上に草本植生が回復
- ・南側斜面の 3～8 合目付近では、植生が回復し、一部森林化
- ・勝山谷川流域では、堰堤等の整備が進展し麓の土砂災害を防止

3 伊吹山保全対策に係るロードマップ(案)

【主な対策】

(1) 勝山谷川土砂災害対策

堰堤の新設等により、土砂流出による下流への人家や道路への被害を防止する。

県(砂防)：砂防堰堤新設(1 基目) [設計等(～R 6)、工事(～R 8)]

砂防堰堤新設(2 基目) [設計等(～R 8)、工事(～R 10 予定)]

県(森林)：治山堰堤新設(1 基目) [設計等(～R 6)、工事(～R 7)]

治山堰堤新設(2 基目) [設計等(～R 7)、工事(～R 10 予定)]

(2) 南側斜面の復旧対策

植生工や山腹工の実施により南側斜面の植生復元や登山道の利用再開を図る。

県(森林)：山腹工等 [設計等(～R 6)、工事(R 7～)]

県(自然)：植生復元工事 [設計等(～R 6)、工事(R 7～)]

県(自然)：登山道復旧工事 [工事(～R 7)] ※長浜土木事務所が執行

米原市：植生復元工事 [工事(R 7～)]

(3) ニホンジカ捕獲

山頂および南側斜面での捕獲強化を図るとともに、生息状況調査等を継続する。

県(自然)：捕獲への支援 [調査・試行捕獲(～R 8)、市への補助(継続)]

米原市：捕獲の強化 [捕獲の実施(継続)]

4 今後の予定

令和 7 年 3 月中 県・市合同プロジェクトチーム会議によりロードマップを策定

目指すべき伊吹山の将来像（案）

土砂災害対策や植生復元事業により、地域の安全・安心を確保するとともに、生物多様性保全の象徴である多様な草花や生き物でにぎわう伊吹山を取り戻す

8合目付近～山頂付近



3～8合目付近



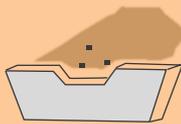
保全・再生の方針

- 郷土種の残存植生を活かし、種子の散布等による群落の拡大を誘導する。
- 特に、浸食が激しい3～8合目付近では、森林化を目指し、ガリ浸食・表土流出の対策や植生復元を行う。

南側斜面（8合目付近～山頂付近）
裸地に植生基盤を作り、草本植生の回復、遷移に委ねる森林の回復を図る

南側斜面
（3～8合目付近）
森林化（主に中低木林）

勝山谷川流域



【勝山谷川流域】
治山堰堤、砂防堰堤等の整備

山頂お花畑

【山頂・3合目お花畑】
植生防護柵の強化

【山頂・伊吹山全域】
ニホンジカ対策
（生息調査、捕獲手法検討、
捕獲強化）

登山道

3合目お花畑

【南側斜面】
登山道復旧、植生復元事業、治山事業、森林整備

伊吹山保全対策に係るロードマップ(案)

実施区域	項目名	対策の概要	所管課	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度～	備考
勝山谷川	砂防堰堤新設	土砂流出による下流の人家や道路への被害を防止するため、砂防堰堤を新設する。	滋賀県 砂防室	詳細設計、用地測量、用地補償 計画、設計、用地測量、用地補償	→	砂防堰堤新設	1基目	砂防堰堤新設	2基目		
	治山堰堤新設等	治山堰堤の新設、森林整備等を実施する。	滋賀県 森林保全課	調査、測量、設計	→	治山堰堤新設 仮設道工事	1基目	治山堰堤新設、森林整備等	2基目		
南側斜面	山腹工等	森林化を目指した植生基盤整備および植生工等を行う。	滋賀県 森林保全課	調査、検討、設計	→	植生基盤整備・植生工					
	植生復元	筋工や植生工等を施工し、土砂流出を防ぐとともに斜面の植生の回復を図る。	滋賀県 自然環境保全課	調査、検討、設計	→	植生復元工事、モニタリング					
		南側斜面中腹で筋工を実施するとともに、3～4合目でカゴ砕工・浚渫等を実施する。	米原市 まち保全課	筋工	→	筋工(7～8合目)・カゴ砕工・浚渫等(3～4合目)		土留工・水路工・筋工(3～4合目)植栽工(3～4合目)			
		8合目～山頂付近で緑化基礎工や植生工を施工し、南側斜面(上部)の自然再生を図る。	米原市 まち保全課	アーチ式獣害ネット工	→	筋工・伏工・植生工	→	植生工等			
	伊吹山復旧基本構想策定	南側斜面の復旧基本構想を作成する。	米原市 まち保全課	調査、策定	→						
登山道復旧	整地、土のう、板柵、植生マット、発生材(石材)等により登山道の機能を回復する。	滋賀県 自然環境保全課 道路保全課	登山道復旧工事	→			南側斜面復旧工事の作業道として利用(登山利用の再開については安全確保の観点から協議し可否を判断)				
全域	ニホンジカ捕獲	生息状況調査や試行捕獲の実施により、効果的な捕獲を促進する。	滋賀県 自然環境保全課	生息状況調査 技術支援	→	試行捕獲(山頂)	捕獲への補助				
		伊吹山でのニホンジカ捕獲強化を継続実施する。	米原市 まち保全課			捕獲強化(R9年度まで集中実施)					
山頂	西登山道整備事業	山頂西登山道の安全性、通行性向上のため、路盤工を実施する。	伊吹山を守る自然再生協議会		路盤工						
	山頂植生保全事業	山頂植生防護柵の設置・維持管理および鹿の隠れ場となっている藪の枝払等を実施する。		西側大型金属柵・小規模柵の設置	→		植生防護柵の維持管理強化・小規模柵の設置等				

----- : 完了時期が確定していないもの

ロードマップ(案) 平面図
《 伊吹山山頂 ~ 南側斜面 ~ 勝山谷川 》

